【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-509460(P2005-509460A)
【公表日】平成17年4月14日(2005.4.14)
【年通号数】公開・登録公報2005-015
【出願番号】特願2003-501532(P2003-501532)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｍ　15/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｍ　13/00　　(2006.01)
Ａ６１Ｊ　 1/03　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ　15/00　　Ａ
Ａ６１Ｍ　13/00
Ａ６１Ｊ　 1/00　３７０Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成17年5月31日(2005.5.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
脆性密封部材（３１２）と、前記密封部材（３１２）に粉末流チャネル（７２９）が挿入されることにより前記密封部材（３１２）が破かれるための手段とを備えているユニット用量粉末受容器において、前記密封部材が、前記粉末から遠ざかる方向に破れることを特徴とするユニット用量粉末受容器（３１）。
【請求項２】
前記粉末が、粉末プロテクタ（３３）を備えた粉末貯蔵器（３４）内に保持されており、前記粉末貯蔵器（３４）および前記粉末プロテクタ（３３）が、スプール／スプールスリーブ組立体（３３および３４）を含むことを特徴とする請求項１に記載のユニット用量粉末受容器（３１）。
【請求項３】
前記スプール／スプールスリーブ組立体（３３および３４）が、スプール受容器内に収容されていることを特徴とする請求項２に記載のユニット用量粉末受容器（３１）。
【請求項４】
前記スプール／スプールスリーブ組立体は、第１の端部が前記脆性密封部材に隣接して位置し、第２の端部が前記受容器の底部に隣接して位置するように、位置することを特徴とする請求項３に記載のユニット用量粉末受容器。
【請求項５】
前記受容器は、その円錐側面が、前記スプールの前記第１の端部から傾斜する一方、前記スプールの前記第２の端部が、前記受容器と摺動可能な適合を形成するように、前記受容器がほぼ円錐台の形状をしていることを特徴とする請求項４に記載のユニット用量粉末受容器。
【請求項６】
前記スプールの前記第２の端部は、スピゴットに当接して配置されることを特徴とする請求項５に記載のユニット用量粉末受容器。

【請求項７】
前記スピゴットは前記スプールと一体的であることを特徴とする請求項６に記載のユニット用量粉末受容器。
【請求項８】
前記スピゴットは前記受容器と一体的であることを特徴とする請求項６に記載のユニット用量粉末受容器。
【請求項９】
前記受容器は、前記スピゴットが中に座する凹部を備えていることを特徴とする請求項６に記載のユニット用量粉末受容器。
【請求項１０】
前記凹部が、前記スプールスリーブと摺動可能な適合を形成することを特徴とする請求項９に記載のユニット用量粉末受容器。
【請求項１１】
前記凹部の深さが、前記スプールスリーブの長さと実質的に同様であることを特徴とする請求項１２に記載のユニット用量粉末受容器。
【請求項１２】
請求項１に記載されたユニット用量粉末受容器の脆性密封部材を破くための破裂部材において、この破裂部材が、破裂部材、スプール／スプールスリーブ組立体セパレータおよび粉末チャネルとして機能するように構成されていることを特徴とする破裂部材。
【請求項１３】
前記破裂部材が、前記受容器の壁と一致するように構成された一対の傾斜壁を備えていることを特徴とする請求項１２に記載の破裂部材。
【請求項１４】
前記破裂部材の前記傾斜壁の一端が、切刃を形成していることを特徴とする請求項１３に記載の破裂部材。
【請求項１５】
前記破裂部材が、一対の粉末チャネルを備えていることを特徴とする請求項１２に記載の破裂部材。
【請求項１６】
前記破裂部材が、前記粉末受容器の中に洗浄用空気を導入するように構成されていることを特徴とする請求項１５に記載の破裂部材。
【請求項１７】
請求項１に記載のユニット用量粉末受容器を備えている粉末送達装置。
【請求項１８】
前記送達装置が、前記脆性密封部材を破くための破裂手段を含むことを特徴とする請求項１７に記載の粉末送達装置。
【請求項１９】
前記破裂手段が、前記スプールと前記スプールスリーブとの分離を促すようにも構成されていることを特徴とする請求項１８に記載の粉末送達装置。
【請求項２０】
前記破裂手段が、前記スプールからの前記スプールスリーブの分離を摺動可能に促すように前記スプールスリーブに作用するように構成されていることを特徴とする請求項１９に記載の粉末送達装置。
【請求項２１】
前記破裂手段が、粉末チャネルとしても機能するように構成されていることを特徴とする請求項１８に記載の粉末送達装置。
【請求項２２】
前記破裂部材の前記粉末チャネルは、前記破裂部材が完全に挿入された場合に、前記粉末の全部または一部の上に位置するように構成されていることを特徴とする請求項２１に記載の粉末送達装置。

【請求項２３】
前記粉末が医薬品であることを特徴とする請求項１７に記載の粉末送達装置。
【請求項２４】
前記送達装置が乾燥粉末吸入器であることを特徴とする請求項１７に記載の粉末送達装置。
【請求項２５】
前記装置が複数のユニット用量粉末受容器を備えていることを特徴とする請求項１７に記載の粉末送達装置。
【請求項２６】
請求項２３に記載された粉末送達装置の使用を含んでなる粉末送達方法。